

障がい者優先調達 NEWS

「そのお仕事、障がい者就労施設
に発注できませんか？」

VOL.29

平成 29 年 10 月 2 日発行

長野県 健康福祉部 障がい者支援課

TEL:026-235-7105(直通)

FAX:026-234-2369

E-MAIL:fuku-jiritsu@pref.nagano.lg.jp

■ 県における平成28年度の調達実績

先般、各所属からご報告いただき、障がい者就労施設等からの調達額を調査したところ、平成28年度における本県の調達合計額は34,842,271円で、前年度に比べ1,254,880円の減少（約3.5%減）となりました。

例年、最も調達の多い印刷物について、前年度に比べ4,888,259円（35.3%）減の8,944,296円となったことが、調達合計額の減少につながったと思われます。

また、この調達合計額は、県が定めた調達目標額の4,500万円には至りませんでした。

一方、調達件数は524件で前年度に比べ27件（約4.5%）増加しています。特に事務用品（ゴム印など）の調達が前年を21件上回る56件と増加し、各所属で調達に努めていただいていることがうかがえます。

■ 平成 29 年度の長野県の調達目標額は 4,500 万円！

平成 29 年度における長野県の障がい者就労施設等からの物品等の調達方針では、その調達目標額を4,500万円としています。各所属においても年間の目標額を定めていることと思いますが、様々な物品の購入や印刷物、クリーニング、清掃等の役務の発注先として、ぜひ障がい者就労施設等を検討していただきますようお願いいたします。

詳しくは、障がい者支援課または長野県セルフセンター協議会ホームページをご覧ください。ご不明な点がありましたら、障がい者支援課自立支援係までご連絡ください。

○障がい者支援課自立支援係

・電話：026-235-7105 メールアドレス：fuku-jiritsu@pref.nagano.lg.jp

○特定非営利活動法人長野県セルフセンター協議会

・ホームページ：<http://www.n-selp.jp/>（障がい者就労施設の物品・サービスの検索ができます）

・電話：026-291-8280 メールアドレス：nselp@ebony.plala.or.jp

■ 平成28年度の工賃実績についてお知らせします

障がい福祉サービス事業所（就労継続支援B型事業所）の工賃について、平成28年度の実績がまとまりました。

月額平均工賃は15,246円で、前年度に比べ655円の増加（4.5%増）となりました。「長野県障がい者工賃向上計画」（平成27～29年度）において目標としていた19,500円は達成できませんでしたが、全244事業所の約6割に当たる151事業所で、前年度の金額を上回りました。

なお、工賃向上の取組を始めた平成18年度と比べて、事業所数は2.7倍、工賃支払総額は3.5倍（約8億7千万円）に増え、障がい者の就労の場は着実に拡大してきています。

その仕事、障がい者就労施設へお任せください！ (企業における障がい者就労施設からの調達事例)

民間企業は、障害者優先調達推進法に基づく障がい者就労施設等からの調達に関する責務はありませんが、障がい者就労施設への作業委託や施設からの物品の購入などを行っているケースがあります。

今号では、作業を委託している企業の事例を紹介します。

■ 事例その1 ～ コカ・コーラ リサイクル分別作業 ～

須坂長野東インター近くにある北陸コカ・コーラ（北陸ロジスティックス(株)）では、同社が自動販売機等から排出・回収した使用済みの空き缶・ペットボトル等の分別作業を障がい者就労施設に委託しています。

長野県セルフセンター協議会の仲介で長野市内の5つの障がい者就労施設が共同で作業を請け負い、1つの施設が曜日別に担当し、施設の利用者10人程度が作業に携わっています。

作業の内容は、同社が回収したビニール袋入りの使用済みの空き缶等を、ペットボトル・缶・ビンに分けるといったものです。また、混入している紙類などのゴミも分けています。

屋外の作業のため、暑さ・寒さに加え、匂いもありますが、「熱心に作業にあたっている。」（同社）とのこと。また、同社では暑さ等の対策のため、作業場の隣に冷暖房設備のある休憩スペース（ユニットハウス）を設置し、配慮を行っています。



■ 事例その2 ～ 佐川急便 封入・封緘作業 ～

須坂長野東インター近くにある佐川急便(株)では、ダイレクトメールなど企業等から受注するメール便の発送にあたって、封入・封緘作業を障がい者就労施設に委託しています。

長野県セルフセンター協議会の仲介で長野市内の6つの障がい者就労施設が共同で作業を請け負っています。このうち、5つの施設では封入物を各施設へ搬送し、施設内で封入作業を行っています。残る1つの施設は、佐川急便の営業所の一角で作業をしており、それぞれ利用者2人～6人程度が作業に携わっています。

作業の内容は、種類や数量を確認し、印刷物を封筒に封入・封緘して最後に宛名シールを貼るというものです。この作業は、丁寧さと早さの両方が求められますが、作業に携わっている障がい者就労施設は、同社から「正確で作業が速い。」と高い評価を受けています。



おいしい部局長会議で障がい者就労施設が 生産した原料を使った商品が紹介されました

■ 株式会社フジすまいるファーム飯山が生産の坂井芋を使用：抹茶あずきコロッケ 登場！

毎月、県庁で開催している部局長会議では、会議の冒頭に長野県の「山」・「健康長寿」・「美しさ」について『食』の面から各部局の取組をPRする時間を設けています。

このほど、7月21日（金）の部局長会議に、農福連携事業で飯山市が誘致し設立された障がい福祉サービス就労継続支援A型事業所である「株式会社フジすまいるファーム飯山」で働く障がい者のみなさんが生産する坂井芋（県伝統野菜）を使用したコロッケが登場しました。

このコロッケは、同社の親会社で、愛媛県をはじめ四国・中国地方でスーパーマーケットを展開する株式会社フジにより、店頭で販売するお惣菜の一つとして商品化されたもので、廃棄の多い親芋の部分を使用しています。

日頃は四国・中国地方だけで販売されているこのコロッケですが、9月からは、いいやま湯滝温泉のレストランと売店でも販売されています。



中四国に展開する親会社スーパーフジの店頭で販売されています。

坂井芋にあずきと抹茶が加わり、里芋の粘りと濃厚な味にやさしい甘味が感じられます。

◇お問い合わせ

株式会社フジすまいるファーム飯山（障害者就労継続支援A型事業所）
飯山市大字照岡 485-1 電話 0269-69-2055

編集後記

障害者優先調達推進法が施行されて4年が経過し、当NEWSの発刊も29回となりました。今号では、企業の障がい者就労施設からの調達に関する記事を掲載しましたが、いかがでしたでしょうか。

次号以降は、障がい者支援に日頃直接関わらない方にも、より一層関心を持ってお読みいただけるよう、障がい者を雇用している企業や働く障がい者等についての紹介も考えています。

については、NEWSの内容や発信のあり方、知りたい情報等、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

メールアドレス：fuku-jiritsu@pref.nagano.lg.jp